

冷媒配管用 MD-02~05 ナスロックMD 銅管継手 取扱説明書 13.11

●この度はナスロックMDをお買い上げいただき、誠に有難うございます。●本品の機能を充分に発揮し正しくご使用いただくために、この取扱説明書を最後まで充分にお読み下さい。●お読みになった後は、大事に保管してください。

安全上必ず守ってください

⊖ 禁止

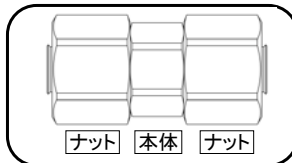
- ⊖ ナットを分解しないで下さい。漏れの原因になります。
- ⊖ 継手を落下させたり、投げたりしないで下さい。漏れの原因になります。

⚠ 注意

- ① 銅管端部に、屈曲、偏平、ゴミ、バリがないように、切断は銅管カッターを使用して下さい。
- ① ナットにスムーズに入らない銅管は使用しないで下さい。
- ① 銅管を締付ける時には本体とナットにスパナなど工具を掛けて下さい。
- ① 施工完了後にナットを緩めないで下さい。漏れに繋がります。
- ① 施工完了後にナットや銅管を無理に回さないで下さい。漏れに繋がります。

製品名称・外観

●ストレートユニオン



適用銅管

φ6.35銅管 0.8mm O材
φ9.52銅管 0.8mm O材
φ12.7銅管 0.8mm O材
φ15.88銅管 1.0mm O材

型式名

MD-02-W
MD-03-W
MD-04-W
MD-05-W

用意する工具（一般的に空調工事で使用するものです）



接続締付方法

①銅管の端部準備



銅管の外周部が一番大事なシール部です。

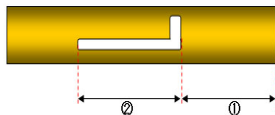
●必ず、銅管の表面キズや、管の屈曲・偏平がないかを確認します。

先端から約20mmまでが重要な箇所です

●管端部にバリやゴミなどがあれば、取り除いて下さい。管のキズのときは管を切り取って下さい。ナットにスムーズに入らない銅管は使用しないで、管を切り取り、入る部分で使用して下さい。

②銅管のマーキング

サイズ	MD-02	MD-03	MD-04	MD-05	MD-06
①銅管端部から縦線左側まで	13~14mm	13~14mm	16~17mm	16~17mm	17~18mm
②横線（縦線の左側から）	8mm以上	13mm以上	13mm以上	14mm以上	15mm以上



●挿入確認の為に銅管にマジックで ①縦・②横の線を引きます。（線の位置は寸法表によります）

●これは必要最小限度の挿入長さを確保するため目印線と、線の引き忘れを確認する、2つの意味です。

●施工途中の仮締め時と、施工完了の本締め時に確認します。

銅管の挿入不足は漏れの原因になります。挿入不足の判定のため必ずマーキング線を引いて下さい。

③銅管の挿入

●銅管が本体内の奥に当たるまで挿入して下さい。

●この時必ずマーキング線が正しく見えていることを確認して下さい。

○ 正しい施工の状態



縦線のみ見える（線を引き忘れていない）

X 挿入不足の状態



縦と横線の両方が見える

④ナットの本締め

●まず銅管が抜けないよう手で押え、ナットを少し回転させて仮締めしてから、本体を固定してナットが本体に当たるまで締込んで下さい。



⑤締付け確認

↓ ドン突き



●本体とナットが当たるドン突きまで締込まれていて、目で見て隙間の無いことを確認して下さい。

●マーキング線が正常に見えることを確認して下さい。

取扱いの注意事項

・銅管端部に、キズ、屈曲、偏平、ゴミ、バリがないようにして下さい。切断には銅管カッターを使用して下さい。

・締め付け完了後は継手の根元に負荷が掛からないようにして下さい。（銅管を曲げる時には、継手から10cm以上離れた箇所まで曲げて下さい。銅管が軸方向に回転するような負荷を掛けないようにして下さい）

・一度使用した継手は再利用できません。施工後に新しいナットに交換して下さい。また銅管も改めて切り直して下さい。

※取扱説明書の内容は製品の改良、変更などの為に予告無く変更される場合があります。



本社 〒455-0063 名古屋市長区名四町9番5号
TEL (052) 853-8776 (代) FAX (052) 853-8771
東京支店 〒111-0051 東京都台東区藤前4-33-8
TEL (03) 5883-5875 FAX (03) 5833-5835
大阪支店 〒577-0016 大阪市長田西4丁目3-28
TEL (06) 8748-5420 FAX (06) 8748-5421

<http://www.nasco-f.co.jp>

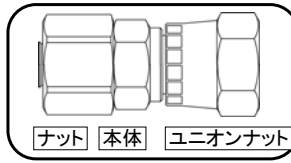
●この度はMB-02, 03をお買い上げいただき、誠に有難うございます。●本品の機能を充分に発揮し正しくご使用いただくために、この取扱説明書を最後まで充分にお読み下さい。●お読みになった後は、大事に保管してください。

安全上必ず守ってください

- ⊖ 禁止
- ⊖ 分解しない。内臓されているロック部品の変形による漏れの原因になります。
 - ⊖ 火気の近くに設置しない。内臓されているロック部品が変形し漏れの原因になります。
- ⚠ 注意
- ① 銅管端部に、屈曲、偏平、ゴミ、バリがないように、切断は銅管カッターを使用して下さい。
 - ① 銅管を締付ける時にはナットと本体にスパナ掛けて下さい。
 - ① フレア部を締付ける時にはフレアナットと三方弁本体・ユニオンナットとフレア本体にスパナ掛けて下さい。
 - ① 施工完了後にナットを無理に回さないで下さい。

製品名称・外観

●フレアメスユニオン



φ6.35銅管 0.8mm O材
φ9.52銅管 0.8mm O材
φ12.7銅管 0.8mm O材
φ15.88銅管 1.0mm O材

MD-02N-2UF
MD-03N-3UF
MD-04N-4UF
MD-05N-5UF

用意する工具（一般的に空調工事で使用するものです）



推奨する接続する手順

以下の手順で接続することをお勧め致します。

- 接続手順① エアコン室内機側の銅管を接続する
- 接続手順② エアコン室内機側のフレア部を接続する
- 接続手順③ エアコン室外機側のフレア部を接続する
- 接続手順④ エアコン室外機側の銅管を接続する



接続締付方法

①銅管の端部準備

銅管の外周部が一番大事なシール部です。

●必ず、銅管の表面キズや、管の屈曲・偏平がないかを確認します。

先端から約20mmまでが重要な箇所です

●管端部にバリやゴミなどがあれば、取り除いて下さい。管のキズのときは管を切り取って下さい。ナットにスムーズに入らない銅管は使用しないで、管を切り取り、入る部分で使用して下さい。

②銅管のマーキング

サイズ	MD-02	MD-03	MD-04	MD-05	MD-06
①銅管端部から縦線左側まで	13~14mm	13~14mm	16~17mm	16~17mm	17~18mm
②横線(縦線の左側から)	8mm以上	13mm以上	13mm以上	14mm以上	15mm以上

●挿入確認の為に銅管にマジックで ①縦・②横の線を引きます。(線の位置は寸法表によります)

●これは必要最小限度の挿入長さを確保するため目印線と、線の引き忘れを確認する、2つの意味です。

●施工途中の仮締め時と、施工完了の本締め時に確認します。

銅管の挿入不足は漏れの原因になります。挿入不足の判定のため必ずマーキング線を引いて下さい。

③銅管の挿入

●銅管が本体内の奥に当たるまで挿入して下さい。

●この時必ずマーキング線が正しく見えていることを確認して下さい。

○ 正しい施工の状態

横線のみ見える(線を引き忘れていない)

X 挿入不足の状態

縦と横線の両方が見える

④ナットの本締め

●まず銅管が抜けないように手で押え、ナットを少し回転させて仮締めしてから、本体を固定してナットが本体に当たるまで締込んで下さい。

⑤締付け確認

↓ ドン突き

●本体とナットが当たるドン突きまで締込まれていて、目で見て隙間の無いことを確認して下さい。

●マーキング線が正常に見えることを確認して下さい。

⑥フレア側締付け

●ユニオンナットを手で仮締めしてから、トルクレンチにてユニオンナットを本締めして下さい。

サイズ	6.35	9.52	12.7	15.88	19.05
締付トルク	16±2Nm	38±4Nm	55±6Nm	75±7Nm	10±10Nm

JIS B 8607「冷媒用フレア及びろう付け管継手」の内容と同じです。

手締め →

取扱いの注意事項

- 銅管端部に、キズ、屈曲、偏平、ゴミ、バリがないようにして下さい。切断には銅管カッターを使用して下さい。
- 締付け完了後は継手の根元に負荷が掛からないようにして下さい。(銅管を曲げる時には、継手から10cm以上離れた箇所まで曲げて下さい。銅管が軸方向に回転するような負荷を掛けないようにして下さい)
- 一度使用した継手は再利用できません。施工後に新しいナットに交換して下さい。また銅管も改めて切り直して下さい。

※取扱説明書の内容は製品の改良、変更などの為に予告無く変更される場合があります。